

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：俣野保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：藤田 淳志	定員（利用人数）：75名（86名）
所在地：〒245-0066 横浜市戸塚区俣野町1403-19	
TEL：045-852-0308	ホームページ： https://izumi-naeba.net/matano/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人いずみ苗場の会	
職員数	常勤職員：19名 非常勤職員：22名
専門職員	保育士 30名 看護師（内准看護師） 0名（名） 栄養士（内管理栄養士） 1名（名） 調理員（内調理師） 4名（名） 子育て支援員 1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	乳児室（0～2歳児室） 2室 幼児室（3～5歳児室） 3室 調理室 1室 トイレ 5室 事務室 1室 職員休憩室（更衣室） 1室 年度限定保育室 1室 一時保育室 1室 建物の構造：RC造り2階建て 建物総面積：594.602㎡ 園庭： 398.57㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】 ・「人は誰もこの世に必要があって生まれてきている」との思いのもと、子どもたちを受け入れられる人数の限りにおいて、分け隔てなく受け入れて、集まった子どもや保護者、それから職員皆で育ち合うことを前提として保育をしています。
【基本方針】 ・「よく食べ・よく遊び・育ちあう」の3つの基本方針を掲げ、子どもたちの育ちを支えていきます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】 俣野保育園は、JR東海道線、市営地下鉄「戸塚」駅、またはJR東海道線「大船」駅よりバス利用で「ドリームハイツ」下車徒歩5分の住宅地にあります。近隣に俣野公園はじめ、さまざまな自然豊かな公園や畑等があり戸外活動に利用しています。

運営法人は社会福祉法人いずみ苗場の会です。戸塚区、泉区で保育、障がい分野の事業所を運営し、地域の福祉事業に貢献しています。

2021年に横浜市から民間移管され3年目の園です。

【園の特徴】

園は目標を「いきいきと遊ぶ子ども」「自分で考えられる子ども」「仲間と育ちあう子ども」と定め、子ども一人ひとりの成長やお互いが大切な存在であると認め合うことができるよう、取り組んでいます。保護者、地域住民と連携を深め、民間移管後よりよい園を目指して全職員で取り組んでいます。また地域の福祉ニーズに応じた地域支援に熱心に取り組んでいます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月18日（契約日） ～ 2023年12月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一回

⑥ 総評

◇特長

1. 一人ひとりの育ちを大切にする保育

子ども一人ひとりを理解し、丁寧に向き合うことを心がけています。日常の中で、今の子どもの状態や様子を良く見て現状をチェックし記録に残しています。今必要なことは何かを考え、指導計画に反映したり環境の工夫をしています。子どもの個性や多様性への理解を深め、話し合うグループ研修を毎月行なって、各職員は保育内容の事例報告書を毎月まとめしています。また年3回、全保護者との個人面談を行ない、一人ひとりの育ちを保護者と共有しています。

2. さまざまな生活経験を通した保育活動の工夫

季節の年中行事や地域に向けての園行事、地域の催事参加等で、四季や伝統文化に触れたり、地域の人と交流しています。毎日の園庭遊びや散歩、自然豊かな環境を生かした公園、農園（畑）等での戸外活動を存分に楽しんでいます。

園にも畑があり、土壌作り、栽培、収穫をしています。園庭にある柿の収穫もしました。梅ジュース作り、味噌玉作り、魚をさばくところを実際に見たり、親子クッキング等もしています。年長児は当番で給食のご飯を、その日のクラスの人数分の米を研ぎ、炊飯器で炊いています。生活の中の多くの実体験を通し、生きる力を育てています。

3. 地域に向けた子育て支援への努力

運営法人や地域の子育て連絡会、支援ネットワーク等と連携を取りながら、地域の子育て支援の課題やニーズを把握しています。地域の子育て家庭を支援するため、一時保育、年度限定保育、育児相談、園庭開放、ランチ交流、来園した親子に絵本貸し出し等を行なっています。

一時保育は今年度から、低年齢児の受け入れも始めました。一時保育利用や年度限定保育利用の子どもは、同年齢のクラス活動と一緒に参加したり交流する機会を増やす工夫をしています。

子育て支援団体に職員が出向き、講習や遊びの提供、育児相談をしています。子育て支援の活動に参加が難しい家庭や、利用にまで結び付かない家庭等、潜在的な二-

ズにどう対応するか、どう体制を作るかも検討しています。

◇今後期待される点

1. 職員が将来を見通せる仕組み作り

職員は、自身の保育経験や職員同士の連携を大切に、やりがいを持ち努力しています。しかし、職務に関する成果や貢献度を評価する人事評価基準や、職員が自ら将来の姿を描くことができるようなステップを示した総合的な仕組みはありません。今後の策定が期待されます。

2. 中長期計画及び単年度の事業計画の書式の工夫

運営法人の理念、保育理念に則り、社会環境や時代の変化に即した保育園の役割と責任を果たすべく、課題を抽出して中長期計画、単年度の事業計画を策定しています。

実施時期、数値目標や成果目標、担当者等を設定し、さらに具体化した内容で実施状況の評価が行なえるような書式の工夫が期待されます。

3. プライバシー保護に関するマニュアルの策定

園庭でのプール、水遊び時はフェンスに遮光ネットを付け、外部からの視線を遮っています。Tシャツ、ラッシュガードを着ています。シャワールームは園外から見えない位置にあります。子どもの写真、名札等の取り扱いに配慮しています。子どもの連絡帳や手紙、書類は不透明なカバーに入れて個別にやり取りしています。

子どものプライバシーに配慮した保育を行なっていますが、子どものプライバシー保護についての姿勢や責務、留意点等を明記した規程・マニュアルを作成することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

民間移管後3年目にして初めての第三者評価の受審となりました。大変忙しい中ではありましたが、多くの保護者の方にアンケートにお答えいただきました。俣野保育園の課題点はもちろん、職員への励ましのお言葉を多数いただき、より一層保育に力を注いでいくことを職員一同確認しました。

今回の受審では私たちがこの3年で大切に考えてきた「一人一人の育ちを大切にする保育」や「様々な生活体験を通じた保育活動の工夫」、それから「地域に向けた子育て支援への努力」などを評価いただき、より保育の向上を図っていくための基礎ができたように感じております。

また自己評価をする過程でマニュアルの内容の点検を行いました。俣野保育園ではどのように考え、どのように保育を行っていくのかを職員同士で再確認することができ、このことも収穫でした。また一度作ったマニュアルを状況に合わせて修正していく意味を確認でき、今後は定期的な点検修正を繰り返しながらよりよい保育につなげていきたいと考えております。

それから運営体制の強化の上で必要なご指摘をいただいたと考えております。私たちの求める保育を継続していくためにも、まずはこの改善に取り組んでいきたいと考えております。ありがとうございます。